平成２６年度　地震対応図上型防災訓練　実施計画

１　訓練目的

今世紀前半の発生が危惧されている「南海トラフの巨大地震」を想定した図上型防災訓練を実施することにより、地震発生時の初動期における災害対策本部が行なうべき状況判断（意思決定）と役割の確認や、応急対策活動上の問題点及び課題を抽出するとともに、本市災害対応能力の向上を図ることを目的とする。

２　実施日時

平成２６年５月２６日（月）　１３時３０分～１６時００分

３　訓練会場

市役所本庁舎　５階　本部室（災害対策本部事務局運営）及び
本部会議室（災害対策本部会議）

４　訓練参加機関・参加者

【プレーヤー部】松山市災害対策本部

災害対策本部長、副本部長、本部長付、本部員及び災害対策本部事務局員
９０名程度

【コントローラー部】統括係、状況付与係

四国地方整備局松山河川国道事務所、松山地方気象台、陸上自衛隊第１４特科隊、愛媛県、松山東・西・南警察署、市職員　３０名程度

５　訓練実施要領

（１）訓練想定

平成２６年５月２６日（月）１３時３０分、南海トラフを震源としたＭ９．０（市内最大震度７）の地震が発生。

大きな揺れにより、市内各地で家屋の倒壊や道路の損壊等で甚大な人的・物的被害が発生するとともに、瀬戸内海沿岸に大津波警報（特別警報）が発表される。（松山市最大津波高３．９ｍ）

（２）訓練時間

地震発生の**１３時３０分から１５時３０分**の２時間。

（３）訓練方式

①「図上シミュレーション方式」

実際の災害時に近い場面を設定して、コントローラーから電話やＦＡＸ等で付与される災害状況を、プレーヤーである災害対策本部が収集・分析・判断するとともに、対策方針を検討するなどの災害対処活動を図上で行なう。

なお、電話やＦＡＸ等による状況付与に基づき、対応記録票や時系列管理シートの記入を徹底するとともに、情報連絡票を活用し、プレーヤー間の情報交換を促す。

②「ブラインド方式」

事前にシナリオをプレーヤーに明かさない方法で実施する。

（４）主要訓練項目

① 地震発生直後における、市及び関係機関等が連携した初動対応
- 〇情報の収集・処理（整理・分析・伝達）及び情報の共有
- 〇優先順位に応じた応急対策の検討
- 〇防災関係機関等との連絡調整

② 災害対策本部事務局内の連携要領
- 〇災害対策本部及び災害対策本部事務局の運営状況を検証

（５）過去の大規模災害の教訓を受けた訓練内容

① 停電状態での災害対策本部の設置（開始１０分間）
② 通信制約下の連絡手段の活用（開始３０分間）
③ 大津波警報発表時の対策方針の決定（標高マップの使用）

６　訓練スケジュール

１３：２０	訓練事前放送
１３：３０	訓練開始（地震発生）
１３：３５	第１回災害対策本部会議（所要時間 5 分程度）
１４：３０	第２回　　〃　　（所要時間 15 分程度）
１５：３０	訓練終了
１５：３０～１６：００	全体討議、訓練講評・挨拶
１６：００	終了

７　その他

市長、副市長及び各部局長等参加のもと、災害対策本部会議を２回開催する。
（１３時３５分から５分程度、１４時３０分から１５分程度を予定）